

6てんしょー 六天王子

秋田県立視覚支援学校 校報「六点鐘」No.212

令和7年12月25日 発行

〒010-1409
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号
TEL 018-889-8571
FAX 018-889-8575
shikaku-s@akita-pref.ed.jp

今年は、「点字」が誕生して二百年という節目の年です。点字は、一八二五年にフランスのルイ・ブライユによって考案されました。六つの点の組合せによって文字を表す仕組みは、視覚に障害のある方々に「読む」と「書く」ととの自由と喜びをもたらしました。ルイ・ブライユが生涯をかけて示した「知りたい、伝えたい」という願いは、今もなお、世界中の人々の心を動かし続けています。

本校でも、点字や拡大文字、ICT機器などを活用し、それぞれの見方に応じた学びを進めています。それぞれの学習の様子から学ぶ喜びを感じることができます。視覚に障害のある方々の安全を守るもう一つの発明に、「点字ブロック」があります。岡山で生まれ、設置から五十八年を迎えた。本校では、毎年、幼児児童生徒・保護者・教職員が協力し、地域の方々にその大切さを伝える理

て示した「知りたい、伝えたい」という願いは、今もなお、世界中の人々の心を動かし続けています。本校でも、点字や拡大文字、ICT機器などを活用し、それぞれの見え方に応じた学びを進めていきます。それぞれの学習の様子から学ぶ喜びを感じることができます。視覚に障害のある方々の安全を守るもう一つの発明に、「点字ブロック」があります。岡山で生まれ、設置から五十八年を迎えるました。本校では、毎年、幼稚児童生徒・保護者・教職員が協力し、地域の方々にその大切さを伝える理

今年は、「点字」が誕生して一百年という節目の年です。点字は、一八二五年にフランスのルイ・ブライユによって考案されました。六つの点の組合せによって文字を表す仕組みは、視覚に障害のある方に「読む」と「書く」ととの自由と喜びをもたらしました。ルイ・ブライユが生涯をかけた。

一 支えること」、「理解すること」を自分ごととして考える大切な学びの場となっています。また、本校の理療科では、あん摩マッサージ指圧・鍼灸の技術を学ぶ生徒が、公共施設などで校外臨床実習を行っています。実際に地域の方々に施術を行うことで、技術の向上だけでなく、「人と向き合う姿勢」や「感謝の心」を深めています。施術を受けた方々からは、温かい言葉を掛けていただき、生徒たちにとって大きな励みとなっています。

理療教育は、手を通して人の心

種イベント会場や駅構内等で児童生徒の声で録音したアナウンスを流していただいています。九月には、北海道盲導犬協会の皆様と連携し、街頭での募金やチラシ・ティッシュの配布を実施しました。児童生徒・保護者の方々も活動に参加し、地域の方々と温かな交流が生まれました。こうした取組は、

と体に寄り添う学びです。点字や点字ブロックが「見えない・見えにくい世界を支える工夫」であるよう、理療もまた「触ることで伝わる思いやりの文化」です。こうした実践を通して、学校と地域のつながりが深まっていること

点字が生まれて二百年、点字ブロックが設置されて半世紀余り。どちらも、「誰もが安心して生きていける社会をつくりたい」という願いから生まれたものです。その思いを、保護者の皆様と学校、地域が力を合わせて次の世代へとつないでいくことも、私たちの教育の使命であると感じます。

まもなく新しい年を迎えます。幼児児童生徒たちが、この一年で得た経験を自信に変え、さらに大きく成長できるよう、教職員一同、保護者、地域の皆様と共に歩んでまいります。



点字一百年と

教頭近江龍靜



(佐藤 加奈子)



小・中学部ステージ発表

「役柄の『心』を表現するために」

今年の小・中学部は、「児童生徒五名によるオリジナル劇『さつするにんじや』を上演しました。忍者修行を終えた三人の忍者が、村人との交流を通して、「助けるとは何か」を考え、成長する物語です。

児童生徒は、役柄の心情を表現するために、動きやせりふの言い方を真剣に考え、「友達と動きを合わせる」「うれしい・悲しい気持ちを表現する」等、自分の目標を設定して練習を積み重ねました。また、合唱・合奏・ダンスなど、様々な学習成果も披露し、観客の皆さんから笑いや拍手をいただき、大きな達成感を味わうことができました。

(佐藤 加奈子)



(佐藤 韶子)



高等部ステージ発表

「さくら 咲く」

高等部では、「さくら」をテーマに朗読と琴の演奏「さくらさくら」、そしてスピッツの「チェリー」をボーカル、キーボード、打楽器で構成したバンド演奏として披露しました。本番一週間前からは毎日継続した朝練習に取り組み、生徒、職員の心がひとつになっていきました。本番ではお客様の温かい手拍子とほどよい緊張感の中、大成功のさくらが咲き誇るような素晴らしい演奏を届けることができました。

(佐藤 韶子)

秋盲祭 十月二十五日



中学部作業学習製品販売

「笑顔も一倍！」

『かがやきハッピーショップ』

中学部一名で始まった今年度の作業学習。一人の頑張りが実り、たくさんのお品をお届けできました。

ビーズのチャーム付き「点字ブロック・マルチミニマット」、点字の六点をパールビーズで表した「六点チャーム」、白杖の配色をデザインした「白杖ストラップ」、蓄光ビーズと鈴を取り入れた「光る星ストラップ」。製品の説明やP.R.の仕方、お金の計算、袋詰めなど、役割分担して準備を進めてきました。当時は行列のできる『かがやきハッピーショップ』となり大忙し。六十六個の製品が完売しました。「またいっぱい作らなきゃ！」「袋のスタンプ楽しかった！」と前向きな二人の姿勢が頼もしく、嬉しく思います。買つてくださった皆様、ありがとうございました。これからも、「あきらめない心」で製作し続ける中学部作業学習を、どうぞよろしくお願いします。



高等部普通科製品販売

「大盛況！ 高等部製品販売」

高等部普通科の生徒一名で、職業実践・作業学習の授業で製作した

「ポチ袋」と「香り袋」を販売しました。

「香り袋」は、巾着スタイルに形

状をリニューアルし、「new香り袋」として新発売！

たくさんのお客様が手に取ってくださいました。

また、点字用紙をリサイクルして、水引きなどの装飾を施した「ポチ袋」も、定番の人気商品として販売時間終了前に完売しました。



理療科マッサージ体験

「手をぼぐして心を緩める体験」

マッサージ体験コーナーでは、十三名の方々をマッサージすることができます。この日に初めて一般の方を施術する生徒もあり、緊張している様子が伺えました。また、先輩方は後輩の良き手本として堂々と施術していました。短い時間でしたが

が、マッサージを受けた方々は、「気持ちよかつた」、「肩が軽くなつた」など笑顔で感想を話してくれました。

ボランティアの方にもご協力いただき、コーナーは大盛況となり、とても有意義な時間になりました。

(椎名 靖和)



PTAコーナー

「PTAコーナーで大盛り上がり！」

今年の秋祭のPTAコーナーは、お菓子と入浴剤のつかみ取りでした。目一杯お菓子を取ろうとする

子どもたちの姿に、思わず笑顔になりました。来てくださった同窓会の皆さんや親子でも楽しめ、大人も子どもも一緒に盛り上がれる、素敵な企画だったなと思います。

短い時間でしたが、今年も思い出に残る体験になりました。準備や運営をしてくださった先生方、そしてPTAの皆さんのおかげで、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

(PTA副会長 鈴木 由記)



特 総 体 九月十二日

「全集中」

特別支援学校総合体育大会に、全校児童生徒が「ピン倒しボール（HOME）」「ボッチャ」「フライングディスク」の三競技に参加しました。小・中学部は自校の体育館を会場として競技する「ピン倒しボール（HOME）」に出場し、八秒七八の好タイムで念願の全県一位となりました。選手それぞれが体育の授業で練習してきた成果を十分に發揮し、仲間との絆を深めて競技することの楽しさを感じた大会となりました。

（北林 拓也）



「はじめまして」
幼稚部満三歳児りんご組
黒川 楓仁
くろかわ ふうと 3さいです。
ともだちや せんせいと うたつ
たり えほんを みたり カラフル
な おもちゃで あそんだり する
ことが たのしみです。
すきな キャラクターは アンパ
ンマンの 「だだんだん」と ピク
ミンの 「むらさきピクミン」です！
ピクミンの うたを うたつたら
おにいさんたちが ピクミンの
りえや おりがみを くれたよ。あ
りがとう！！
みなさん よろしくね。



（石塚 さおり）

新
しい

お友だちの紹介

「はじめまして」

幼稚部満三歳児りんご組
黒川 楓仁

幼稚部校外学習 十月九日

「初めての校外学習」

爽やかな秋晴れの中、県立児童会館「みらいあ」へ行きました。児童一人はスクールバスに乗るのは初めてでしたが、暗い地下トンネルを通過中は、バス内の照明に気付いて“誰が付けたの？”と話したり、トンネルから出るまで数を数えて遊んだりしました。

「みらいあ」では、いろいろなおもちゃや遊具で遊びました。二階の木育ルームでは、壁面の木に木の実に見立てたボールを付けたり、木の電車を見つけてじっくり見たり触れたりしたあと、実際に乗ってみるなどして、楽しい時間を過ごしました。

学習の様子

小学部修学旅行

九月二十一日～二十六日

Action

～考える行動する～

小学部六年児童は岩手県盛岡市、北上市、花巻市を巡る修学旅行に行つてきました。

一日目は、「盛岡手づくり村」で冷麺を手作りして食べたほか、「桜井記念手で見る博物館」で様々な模型や剥製を触つたり、千歯抜きで脱穀する体験をしたりしました。二日目は、「ヤクルト岩手工場」の見学をしたり、「宮沢賢治童話村」でイーハトーブの世界を体感したりしました。荷物や金銭の管理、移動なども含め、様々な体験と学習がぎゅっと詰まつた旅でした。修学旅行で得た学びを今後の学習に生かしていきたいと思います。

(内藤 聖子)



「最高の思い出作ったで！」
生徒一名が大阪・京都方面へ修学旅行に行ってきました。
電車や路線バスを乗り継ぎ、通天閣や太秦映画村の見学、USJでの活動、組紐製作体験、自主企画研修など、盛りだくさんの四日間でした。
仁和寺では、3Dプリンタで作製された「薬師如来坐像」を触察し、座像のボーナスや細部まで丁寧に彫られた模様を確かめました。
味わった数々の“うまいもん”とともに、最高の思い出として心に刻まれました。

(秋本 久美子)



高等部修学旅行

十一月十一日～十四日

保健理療科・理療科

敬老マツサージ
九月十一日

「どうか気になるところはありますか?」

地域の六十五歳以上の皆様を対象に、本校の臨床実習室において、「第七十二回敬老マッサージ」を実施しました。この行事は、毎年敬老の日の前後に、生徒の理療技術とコミュニケーション能力の向上、そして地域の高齢者の皆様に感謝の気持ちを伝えることを目的として行っています。今年度も来校してくださった九名の皆様と真心を込めた対話を重ねながら、一生懸命施術に取り組む生徒の姿がみられました。

北秋田市の老人憩いの家「ことぶき荘」で、地域の皆様を対象にあん摩マッサージ指圧、はり、きゅうの奉仕活動を行わせていただきました。ご利用くださった方々からは「楽になつた!」「すつきりした!」など、温かい言葉を掛けていただきました。充実した臨床実習となりました。

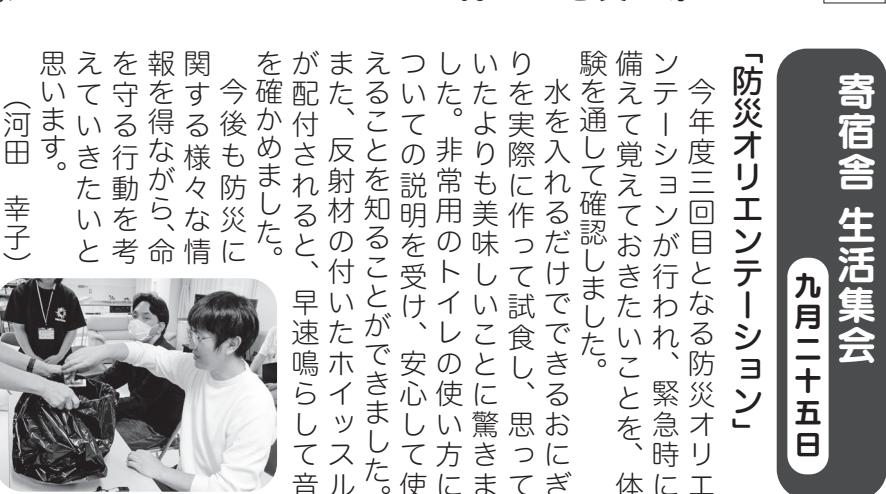
今回の経験を生かし、今後も知識や技能をさらに高めていきたいと思います。





「成長できる場所」
北秋田市校外臨床実習
九月二十四日～二十六日

九月一十四日～二十六日
ある場所

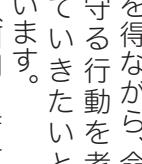


五十嵐幸子、宝池文暁、後松吉田栄、阿部滋子、安田伊藤茂美、佐々木真理奈、高野能登屋昌充、樋渡美由梨、豊昭千東
永井涼太、高橋ひな子、泉原田工藤富士夫、佳代音
※順不同、敬称略
※十月末入金分まで掲載

後援会費を納入いただき
ありがとうございました

が配付されると、早速鳴らして音を確かめました。今後も防災に関する様々な情報を得ながら、命を守る行動を考えていきたいと 思います。

(河田 幸子)



令和七年度 春季休業までの主な行事予定

【1月】
14日（水）全校集会Ⅳ
(冬季休業後)

【編集後記】

暑く長かつた夏を越え、短い秋も駆け抜け、季節は早くも冬へと移りました。冬休みが明ける頃には、卒業や進級に向けた春への準備が始まります。それぞれの思い出を大切に、温かい気持ちで門出を見送りたいと思います。

お世話になりました
志渡万里子先生が八月三十一日を
もってご退職されました。



ご紹介

25 日(水) 離任式
22 19 9 日(木) 春季休業
9 日(木) 修了式
3 月(月) 卒業式
27 日(金) 入学者選考日
21 6 日(土) あはき国家試験
22 6 日(日) 全校日
23 6 日(月) A

16日(金)、全校PTA

寄宿舍生活集会

九月二十五日

ご寄贈ありがとうございました

21 6
日 日
(土) 、
5 22 全校 P T A
は ま く に く う く
國 会 事 務 會

16日(金)、全校PTA